

「人権を確かめあう日」リレーメッセージについて

市では、2004年8月11日から、毎月11日を「人権を確かめあう日」と定めています。

そして、このことを多くの人に知っていただき、人権への思いを深めていただくため、毎月11日に、庁内放送を利用して、リレー形式で各部局から人権に関するメッセージを朗読していただいています。今月のメッセージはこちらです。どうぞご覧下さい。

「人権を確かめあう日」リレーメッセージ No.252

2025. 9. 11 教育委員会事務局



市民のみなさん、職員のみなさん、こんにちは。

毎月11日は「人権を確かめあう日」です。今月は、教育委員会事務局から252回目のメッセージをお送りします。

先日、私は小学校時代の先輩と、35年ぶりに再会しました。

私には脳性麻痺という障害があります。子どもの頃は、周りとは少し違う歩き方をしていたため、時々からかわれることもありました。

先輩は、子どもの頃に私の歩き方を真似てしまい、先生に注意されたことをずっと気にかけてこられたそうです。勇気を出して、謝罪の言葉を伝えるために職場まで訪ねてきてくれて、手紙まで書いてくれました。

長い年月を経て「ずっと気にしていた」と正直に打ち明け、真心のこもった言葉を届けてくれたことは、誰にでもできることではないですし、先輩の優しさと勇気は、私にとって大きな励ましとなりました。

人は誰しも、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまうことがあります。けれども、それを認め、相手に伝える勇気を持つことで、心と心は再びつながり直すことができます。人権を大切にすることというのは、お互いを尊重し、ありのままの存在を受け入れることだと思います。

この出来事を通して、私は「過去を乗り越え、共に歩んでいける関係を築ける」という人の可能性を改めて感じました。どうかみなさんも、身近な人との関わりの中で、お互いを尊重する姿勢を大切にいただければと思います。

これで、教育委員会事務局からのメッセージを終わります。

